

SPAC秋→春のシーズン2021-2022

2021年10月～2022年3月



「SPAC 秋→春のシーズン」広報に関するお問い合わせ

SPAC・静岡県舞台芸術センター制作部 広報担当 TEL:054-208-4008(舞台芸術公園)

内田稔子(uchida@spac.or.jp)・坂本彩子(sakamoto@spac.or.jp)

計見葵(keimi@spac.or.jp)・西村藍(nishimura@spac.or.jp)・戸塚美奈(totsuka@spac.or.jp)



秋→春のシーズン 2021-2022 概要

SPAC 秋→春のシーズン

SPAC・静岡県舞台芸術センターでは、毎年 10 月から 3 月にかけて「秋→春のシーズン」と題し、宮城聡と国内外の注目の演出家たちによる名作の数々を、静岡芸術劇場で連続上演しています。上演されるのは、「もし演劇の教科書があったのなら、必ず掲載されるであろう」古今東西の戯曲で、何年か見続けると世界の演劇史を総覧できるようになっています。また、週末の一般公演とともに、平日は県内の中高生を対象とした招待公演（中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP(スペースシップ)げきとも！」）も行っています。

コロナ禍での実施となった昨シーズンは、静岡芸術劇場の工事休館により、県内各地の文化施設で 3 作品を上演。感染防止対策を巧みに取り入れた演出は、多くのお客様に好評いただき、中高生鑑賞事業公演では約 15,000 人の生徒が観劇しました。また、新たな試みとして、オンラインでの映像ライブ配信も行いました。

そして今シーズンは、一年間の工事休館を終える静岡芸術劇場にて、3 作品を上演します。注目は、フランス国立演劇センター・ジュヌヴィリエ劇場との共同制作による新作『桜の園』。演出のダニエル・ジャンヌトーが厳選した日仏の俳優たちが出演し、チャーホフの傑作を、儚くも美しい劇世界に仕立てます。また、蜜蜂の生態と神秘に迫る幻想的な演劇作品『みつばち共和国』を早くも再演。本作は、昨年日本とフランスをオンライン会議アプリ Zoom で繋ぎ、創作されました。これらウィズコロナ時代の国際共同制作にどうぞご期待ください。なお両作品は、県西部の磐田市および東部の下田市での出張公演も行います。さらに年明けには、宮城の人気作『夜叉ヶ池』をロングラン上演します。

ウィズコロナ時代の作品創作

SPAC では 2020 年 9 月末より様々な感染防止対策を講じたうえで劇場公演を再開しました。検温や劇場および稽古場内の消毒、マスク着用といった一般的な対策のほか、作品の演出そのものを“ソーシャルディスタンス”仕様（俳優同士が身体的に触れ合うシーンを無くす、上演中のマスク着用、小道具の共有は間に消毒を必ず挟む など）に変更。今年度の「秋→春のシーズン」でもこれらの対策を継続し、「お客様同士」や「お客様と俳優の間」での感染防止は勿論のこと、「舞台上における俳優・スタッフ同士」での感染も防ぎつつ、良質な演劇作品の創作に取り組んでまいります。

静岡県舞台芸術センター(Shizuoka Performing Arts Center: ^{スバツク}SPAC)

専用の劇場や稽古場を拠点として、俳優、舞台技術・制作スタッフが活動を行う日本で初めての公立文化事業集団であり、舞台芸術作品の創造・上演とともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を事業目的としています。1997 年から初代芸術総監督鈴木忠志のもとで本格的な活動を開始。2007 年より宮城聡が芸術総監督に就任し、更に事業を発展させています。演劇の創造、上演、招聘活動以外にも、教育機関としての公共劇場のあり方を重視し、中高生鑑賞事業公演や人材育成事業、アウトリーチ活動などを続けています。13 年、全国知事会第 6 回先進政策創造会議により、静岡県の SPAC への取り組みが「先進政策大賞」に選出。18 年度グッドデザイン賞を受賞、無形の活動が一つのデザインとして高く評価されました。

SPAC 芸術総監督 宮城聡(みやぎ・さとし)

1959 年東京生まれ。東京大学で演劇論を学び、90 年ク・ナウカ旗揚げ。国際的な公演活動を展開し、同時代的テキスト解釈とアジア演劇の身体技法や様式性を融合させた演出で国内外から高い評価を得る。2007 年 4 月 SPAC 芸術総監督に就任。14 年アヴィニョン演劇祭から招聘された『マハーバーラタ』の成功を受け、17 年『アンティゴネ』を同演劇祭のオープニング作品として法王庁中庭で上演。アジアの演劇がオープニングに選ばれたのは同演劇祭史上初めてのことであり、その作品世界は大きな反響を呼んだ。平成 29 年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。19 年 4 月フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章。



上演作品一覧／公演スケジュール

#1『みつばち共和国』【再演／国際共同制作／2020年初演】

<一般公演> [2会場7公演]

静岡芸術劇場

10月2日(土)／3日(日)／9日(土)／10日(日)／23日(土)／24日(日) 各日 14:00 開演

下田市民文化会館 大ホール

11月27日(土) 14:00 開演

<中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」> 10月1日(金)～11月26日(金) [3会場14公演／2,593名観劇予定]

静岡芸術劇場

10月1日(金)18:00 開演／5日(火)13:30 開演／8日(金)14:30 開演／12日(火)13:30 開演／

15日(金)13:30 開演／22日(金)13:30 開演／26日(火)13:30 開演／27日(水)13:30・18:00 開演

浜松市天竜壬生ホール

11月18日(木)13:30 開演／19日(金)10:30・14:30 開演

下田市民文化会館 大ホール

11月25日(木)13:30 開演／26日(金)13:30 開演

#2『桜の園』【新作／国際共同制作】

<一般公演> [2会場8公演]

静岡芸術劇場

11月13日(土)／14日(日)／20日(土)／21日(日)／23日(火・祝)／28日(日)／

12月12日(日) 各日 14:00 開演

磐田市竜洋なぎの木会館 大ホール

12月3日(金) 13:30 開演

<中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」> 11月12日(金)～12月15日(水) [1会場9公演／2,090名観劇予定]

静岡芸術劇場

11月12日(金)13:30 開演／17日(水)13:30 開演／22日(月)13:30 開演／12月6日(月)13:30 開演／

8日(水)13:30 開演／13日(月)14:00 開演／14日(火)13:30 開演／15日(水)10:30・14:30 開演

#3『夜叉ヶ池』【再演／2008年初演、09年・12年・15年再演】

<一般公演> [1会場10公演]

静岡芸術劇場

2022年1月22日(土)／23日(日)／29日(土)／30日(日)／2月6日(日)／12日(土)／13日(日)／

19日(土)／23日(水・祝)／3月5日(土) 各日 14:00 開演

<中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」>

2022年1月13日(木)～3月11日(金) [1会場26公演／6,236名観劇予定]

静岡芸術劇場

2022年1月13日(木)13:30 開演／14日(金)13:30 開演／17日(月)13:30 開演／18日(火)13:30 開演／

20日(木)13:30 開演／21日(金)13:30 開演／26日(水)13:30 開演／27日(木)13:30 開演／

28日(金)12:00 開演／2月1日(火)13:30 開演／2日(水)13:30 開演／8日(火)13:30 開演／

9日(水)13:30 開演／15日(火)10:30 開演／17日(木)13:30 開演／18日(金)13:30 開演／

22日(火)13:30 開演／24日(木)13:30 開演／25日(金)13:30 開演／3月1日(火)14:00 開演／

2日(水)13:30 開演／3日(木)13:30 開演／4日(金)13:30 開演／7日(月)13:30 開演／

9日(水)18:00 開演／11日(金)13:30 開演

上演作品紹介

#1『みつばち共和国』【再演／国際共同制作／2020年初演】 上演時間:60分 日本語上演／字幕なし
推奨年齢:7歳～ ※未就学児入場不可



『青い鳥』で知られる作家メーテルリンクの詩情あふれるエッセイ『蜜蜂の生活』をもとに、フランス人演出家セリーヌ・シェフェールが神秘的に包まれたみつばちたちの一年を鮮やかに描き出す。2020年、SPACが日本語版として創作し、森に囲まれた舞台芸術公園 屋内ホール「楢円堂」で上演。プロジェクションやダンスを巧みに取り入れた本作は、大人も子どもも楽しめる演劇作品として好評を博した。そして今年、シーズン開幕作として、早くも再演が決定。一年間の工事休館を終える静岡芸術劇場の重厚感あふれる舞台に、深遠なるみつばちたちの共和国が立ち上がる。

メーテルリンク作『蜜蜂の生活』に基づく

作・演出:セリーヌ・シェフェール 日本語台本:能祖将夫

出演:たきいみき、永井健二、仲村悠希 [50音順] 声の出演:木内琴子

公演日

★親子で観よう★
ファミリー割引あり

<一般公演>

静岡芸術劇場

10月2日(土)／3日(日)／9日(土)／10日(日)／23日(土)／24日(日) 各日 14:00 開演 [全6公演]

下田市民文化会館 大ホール

11月27日(土) 14:00 開演 [全1公演]

<中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」>

10月1日(金)～11月26日(金) [全14公演] 静岡芸術劇場・浜松市天竜壬生ホール・下田市民文化会館大ホール

※公演会場・日時の詳細は2ページをご覧ください。 ※中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。

演出家プロフィール



セリーヌ・シェフェール Céline Schaeffer

演出家、ビジュアル・アーティスト。フランス生まれ。造形美術を学んだのち、1995年より演出助手として舞台芸術分野で活動を始め、1999年からは現代フランスを代表する劇作家ヴァレール・ノヴァリナのコーポレーターを務める。2019年にはカンパニー・ル・メロドローム(Le mélodrome)を設立し、フランス・アヴィニョン演劇祭で本作を創作・初演し、反響を呼んだ。演劇・言語・美術を横断する創作スタイルで注目を集めている。

公演日のイベント

- ◆プレトーク 一般公演日の開演 25分前より
舞台をより面白く観劇できるポイントをご紹介します。
- ◆サイエンストーク 10/10(日) 終演後
「ハチの世界と社会性昆虫」
講師:岸本年郎氏(ふじのくに地球環境史ミュージアム 教授)
- ◆アーティストトーク 10/2(土)、23(土) 終演後
ゲストを招いてのトークを開催します。
10/23(土):大塚茂夫氏(ナショナルジオグラフィック日本版 編集長)
- ◆バックステージレクチャー
10/3(日)、9(土)、24(日)、11/27(土) 終演後
創作・技術部スタッフが舞台裏を解説します。

特別企画

ふじのくに地球環境史ミュージアム Presents
標本展示「ハチの世界」

劇場ロビーに
ミュージアムが
やってくる!

ミュージアム研究員がセレクトした
ハチの標本を、静岡芸術劇場での公演期間中、
特別に展示いたします。ハチたちの世界を、
その造形等からもお楽しみください。

10/1(金)～10/27(水)10:00～18:00

[休業日 10/16を除く]

静岡芸術劇場 1F ロビー(見学無料)



#2『桜の園』【新作／国際共同制作】 上演時間未定 日本語・フランス語上演／日本語字幕



ダニエル・ジャンヌトー 演出『ガラスの動物園』(2011)より ©K.Miura

現代フランスを代表する演出家の一人で、SPAC とはこれまで『ブラスティッド』(2009年)、『ガラスの動物園』(11年)、『盲点たち』(15年)で深い信頼関係を築いてきたダニエル・ジャンヌトー。彼が厳選したフランスの俳優と、SPACの俳優・スタッフが、全く新しいチェーホフの劇世界を描き出す。

演出、舞台美術:ダニエル・ジャンヌトー アーティスティック・コラボレーション、ドラマツルギー、映像:ママール・ベンラヌー
 作:アントン・チェーホフ 翻訳:アンドレ・マルコヴィッチ、フランソワーズ・モルヴァン(仏語)、安達紀子(日本語)
 出演:鈴木陽代、布施安寿香、ソレーヌ・アルベル、阿部一徳、カンタン・ブイッサー、オレリアン・エスタジェ、小長谷勝彦
 ナタリー・クズネツォフ、加藤幸夫、山本実幸、アクセル・ボグスラフスキー、大道無門優也、大内米治

公演日

<一般公演>

静岡芸術劇場 11月13日(土)／14日(日)／20日(土)／21日(日)／23日(火・祝)／28日(日)／
 12月12日(日) 各日14:00開演 [全7公演]

磐田市竜洋なぎの木会館 大ホール 12月3日(金)13:30開演 [全1公演]

<中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」>

11月12日(金)～12月15日(水) [全9公演] 静岡芸術劇場

※公演会場・日時の詳細は2ページをご覧ください。 ※中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。

演出家プロフィール



©Olivier Roller

ダニエル・ジャンヌトー Daniel Jeanneteau

演出家、舞台美術家。ストラスブール装飾芸術学校を卒業後、ストラスブール国立劇場付属学校で演劇を学ぶ。在学中にフランス演劇界の巨匠クロード・レジと出会い、その後15年に渡ってレジ作品の舞台美術を手がけたほか、ジャン＝クロード・ガロッタ、トリシャ・ブラウン、パスカル・ランベールなど、数々の演出家や振付家と創作を共にしている。2001年よりマリー＝クリスティーヌ・ソマと共同で、ラシーヌ、ストリンドベリ、サラ・ケイン、ダニエル・キーンなどの作品を演出。08年よりステュディオ・テアトル・ド・ヴィトリの芸術監督を経て、17年フランス国立演劇センター・ジュヌヴィリエ劇場ディレクターに就任。

#3『夜叉ヶ池』【再演／2008年初演／09年・12年・15年再演】 上演時間:95分 日本語上演／英語字幕



『夜叉ヶ池』(2012) ©NAKAO Eiji

大正初めの山深い村里を舞台に、美しい幻想世界を描いた泉鏡花の傑作戯曲。失踪した東大生、その友人が山奥の村で見たものとは…？美しく艶やかな衣裳と、俳優の生演奏による心を揺さぶる音楽。伝説、自然、恋物語が交差する興奮の舞台が、7年ぶりに待望の再演。

演出:宮城聡 作:泉鏡花

出演:奥野晃士、春日井一平、木内琴子、貴島豪、小長谷勝彦
 鈴木真理子、たきいみき、武石守正、永井健二、ながいさやこ
 布施安寿香、三島景太、宮城嶋遥加、山崎皓司、若宮羊市 [50音順]

公演日

<一般公演>

静岡芸術劇場 2022年1月22日(土)／23日(日)／29日(土)／30日(日)／2月6日(日)／12日(土)／
 13日(日)／19日(土)／23日(水・祝)／3月5日(土) 各日14:00開演 [全10公演]

<中高生鑑賞事業公演「SPACeSHIP げきとも！」>

2022年1月13日(木)～3月11日(金) [全26公演] 静岡芸術劇場

※公演会場・日時の詳細は2ページをご覧ください。 ※中高生鑑賞事業公演の一般販売はございません。

チケット

発売日

- #1『みつばち共和国』…… 好評販売中
#2『桜の園』…… SPAC の会 会員先行予約開始:9月25日(土)10:00
一般前売開始:10月2日(土)10:00
#3『夜叉ヶ池』…… SPAC の会 会員先行予約開始 12月4日(土)10:00
一般前売開始:12月11日(土)10:00

購入方法

SPAC チケットセンター

- 電話予約 TEL:054-202-3399 (10:00~18:00・休業日を除く)
- 窓口販売 静岡芸術劇場チケットカウンター(10:00~18:00・休業日を除く)
- ウェブ予約 <https://spac.or.jp/ticket>
★【ウェブ予約→クレジットカード決済】の場合、セブン-イレブン/郵送でのチケットのお引取りのほか、**電子チケット「モバパス」**もお選びいただけます。
※ご利用にはお手持ちのスマートフォンへアプリのダウンロードが必要です。

【当日券】 残席がある場合のみ、開演 1 時間前より各公演会場受付にて販売

※当日券販売の有無を、公演当日に必ずお電話もしくは Twitter(@_SPAC_) でお確かめください。

チケット料金 ※全てのチケット代金は税込価格です。 ※各種割引の併用はできません。
※乳幼児を連れてのご入場はご遠慮ください。親子室、託児サービスは公式サイトをご覧ください。

- 一般:4,200 円
- ペア割引:3,700 円(2 名様で 1 枚につき)
- グループ割引:3,300 円(3 名様以上で 1 枚につき)※10 名様以上の場合は電話・窓口にてお取り扱い
- ゆうゆう割引:3,500 円[満 60 歳以上の方]※公演当日、受付にて身分証をご提示ください。
- 学割:[大学生・専門学校生]2,000 円
[高校生以下]1,000 円 ※公演当日、受付にて学生証をご提示ください。
- 障がい者割引:2,900 円[障害者手帳をお持ちの方]
※公演当日、受付にて障害者手帳をご提示ください。※付添の方(1 名様)は無料 ※電話・窓口のみのお取り扱い
- 『みつばち共和国』ファミリー割引:3,300 円(高校生以下を同伴の大人 1 名につき)※電話・窓口のみのお取り扱い
- ★ 静岡県内の小学生ご招待(1 公演 5 名様まで) ※電話・窓口にてお取り扱い

「私のあしながおじさんプロジェクト for Family」継続実施 ～観劇希望者募集中～

皆様のご支援のもと、劇場に足を運ぶ機会が少ないご家族を招待し、「親子で一緒に本格的な演劇作品を鑑賞する」体験を届けるプロジェクト。2017 年度からスタートし、これまで 29 組 68 名のご家族に参加いただきました。

- 参加対象:静岡県内でひとり親家庭支援を受けているご家庭、就学援助を受けているご家庭(定員 13 組程度)
※児童・生徒だけでも申込・観劇できます。
- 申込締切:各公演日の 3 日前 ※申込期間内であっても、お席がなくなり次第、締め切らせていただきます。
- 申込方法:SPAC 公式サイトをご確認いただくか、下記にお問い合わせください。
担当:制作部 雪岡・入江(TEL:054-203-5730) 詳細はこちら →



新型コロナウイルス感染拡大予防への取組とご来場の皆様へのお願い

SPAC では、「静岡県実施方針」および(公社)全国公立文化施設協会「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づいた感染防止策を徹底し、「秋→春のシーズン 2021-2022」の各公演を開催いたします。皆様の御理解・御協力をお願いいたします。

★詳細はこちらからご覧ください。>>>>>



アクセス

静岡芸術劇場 〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2丁目 3-1 >> 『みつばち共和国』『桜の園』『夜叉ヶ池』

電 車 ◎JR「東静岡駅」より徒歩 5 分

◎静岡鉄道「長沼駅」から徒歩 12 分

自家用車 ◎JR 東静岡駅を目標にお越しく下さい。駅南のグランシップ一般駐車場をご利用ください。

※駐車料金は劇場内の精算機をご利用いただくと 1 時間 100 円となります。

下田市民文化会館 〒415-0024 下田市 4 丁目 1-2 >> 『みつばち共和国』

電 車 ◎「伊豆急下田駅」から徒歩 7 分

自家用車 ◎東京方面: 国道 135 号線、南伊豆方面→国道 136 号線

◎松崎方面: 県道下田松崎線、天城方面→国道 414 号線

磐田市竜洋なぎの木会館 〒438-0231 磐田市豊岡 6605-3 >> 『桜の園』

電車・バス ◎JR「豊田町駅」より遠鉄バス「とつか 掛塚 浜松駅」行乗車、「なぎの木会館」バス停下車徒歩 2 分

お問い合わせ

SPAC チケットセンター TEL: **054-202-3399** (10:00~18:00・休業日を除く)

★「SPAC 秋→春のシーズン」の最新情報は、公式サイトにて随時お知らせいたします。

SPAC 公式サイト <https://spac.or.jp>

SPAC・静岡県舞台芸術センター

〒422-8019 静岡市駿河区東静岡 2 丁目 3-1

TEL: 054-203-5730(静岡芸術劇場) / FAX: 054-203-5732 / E-mail: mail@spac.or.jp

【報道関係お問い合わせ先】

お問い合わせ、取材のご希望、上演作品の画像等が入用な場合は、下記までご連絡ください。
また、情報を掲載いただける際にも、下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

SPAC・静岡県舞台芸術センター制作部

広報担当 内田稔子(uchida@spac.or.jp)・坂本彩子(sakamoto@spac.or.jp)

計見葵(keimi@spac.or.jp)・西村藍(nishimura@spac.or.jp)・戸塚美奈(totsuka@spac.or.jp)

TEL: 054-203-5730(静岡芸術劇場) / 054-208-4008(舞台芸術公園)

主催: SPAC・静岡県舞台芸術センター、国際交流基金『桜の園』静岡芸術劇場での一般公演のみに対し]
公益社団法人全国公立文化施設協会『みつばち共和国』下田公演・『桜の園』磐田公演に対し]

製作: SPAC・静岡県舞台芸術センター

ふじのくに芸術祭共催事業

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業
『みつばち共和国』下田公演・『桜の園』磐田公演に対し]



GOOD DESIGN
AWARD 2018